イベントレポート第１号

平成２９年５月１８日
青 森 森 林 管 理 署

生協ふれあいの森植樹祭が開催されました

平成２９年５月１４日（日）に「生協ふれあいの森植樹祭」が開催されました。

青森県生活協同組合連合会は、１９９０年から取組みを進めてきた牛乳パック回収の収益金をもとに様々な社会貢献活動を実施しています。それらの活動のうち、２００１年から青森森林管理署及び三八上北森林管理署とふれあいの森の協定を締結、「生協ふれあいの森」を設定し、森林内での様々な体験活動等を通じて、森林と人々の生活や環境との関係についての理解を深めるとともに、牛乳パック等のリサイクル活動を更に推進していくことを目的とし、植樹祭を実施しています。

現地はスギの人工林ですが、その下層にヒバを植樹しました。これは現在東北森林管理局がこの地域で進めている取組みであるヒバ林復元プロジェクトの趣旨と合致します。

植樹祭は今回が１７回目の開催で、これまでで最多の１０２名（うち子供２４名）の参加があり、ヒバの苗木２００本を植樹しました。天気予報では雨と強風が心配されましたが、最後まで雨が降ることなく植付けに良い天候となりました。植樹前には当署職員が

開会式

植樹のやり方を分かりやすく実演

植樹の様子

作業の実演をしながら、「お布団をかぶせるように落ち葉をかけて」と子供にも分かるようにやさしく注意事項を説明し、参加された皆さんはその説明に従い丁寧に作業をしました。

また、植樹後に散策を希望した５２名は青森ヒバをはじめとした眺望山の植物等について当署職員から説明を受けながら、山頂を目指して自然散策を実施しました。参加した子供たちは、落ちている松ぼっくりやどんぐりを見つけては拾ったり、頂上の展望台では「やっほー」と叫んだり、歌を唄いながら下山したりなど、元気に散策している姿が印象的でした。

参加者からは、「意義のある活動に参加できてうれしかった」、「山の空気が気持ちいい」、「眺望山の上からの眺めがよかった」、「来年も参加したい」、「山のお兄さんの丁寧な説明が良かった」などの感想を頂き、大変にぎやかなイベントとなりました。

市民から親しまれるこうした取り組みは、今後も地域の皆様と一緒に進めます。

植樹をやさしく指導

自然散策へ

どんぐり見つけた！

展望台から「やっほー！」

集合写真